

財政用語解説

用語	解説	算式
形式収支	<p>普通会計の決算収支を表示する一形式であり、歳入決算総額から歳出総額を単純に差し引いた歳入歳出差引額である。</p> <p>これは、出納閉鎖期日現在における当該年度中に収入された現金と支出された現金の差額すなわち現金尻を表示するものである。</p>	$\text{歳入} - \text{歳出}$
実質収支	<p>形式収支から翌年度へ繰越すべき財源を控除した決算額をいい、形式収支に発生主義的要素を加味した指標である。また前年度以前から収支の累積でもあり、一般的に標準財政規模の3～5%程度が望ましいとされている。</p>	$(\text{歳入} - \text{歳出}) - \text{翌年度へ繰り越すべき財源}$